

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】平成17年9月8日(2005.9.8)

【公開番号】特開2003-317397(P2003-317397A)

【公開日】平成15年11月7日(2003.11.7)

【出願番号】特願2002-118514(P2002-118514)

【国際特許分類第7版】

G 1 1 B 20/12

G 1 1 B 20/10

G 1 1 B 27/00

H 0 4 N 5/765

H 0 4 N 5/93

【F I】

G 1 1 B 20/12

G 1 1 B 20/10 D

G 1 1 B 20/10 H

G 1 1 B 20/10 3 0 1 Z

G 1 1 B 27/00 B

H 0 4 N 5/91 L

H 0 4 N 5/93 Z

【手続補正書】

【提出日】平成17年3月15日(2005.3.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

メイン情報記録領域に記録されるメイン情報の記録形態により情報記録再生装置を固有モードに制御する制御信号或いは所定の情報を定義付けする付加情報を保有してなり、

上記付加情報として、上記メイン情報を再生する毎にその記録形態を異にして記録することにより順次更新される再生回数情報を定義付けして保有することを特徴とする情報記録媒体。

【請求項2】

メイン情報記録領域に記録されるメイン情報の記録形態により情報記録再生装置を固有モードに制御する制御信号或いは所定の情報を定義付けする付加情報を保有してなり、上記付加情報として上記メイン情報を再生する毎にその記録形態を異にして記録することにより順次更新されて再生回数情報を定義付けして保有する情報記録媒体が用いられ、

少なくとも、記録或いは再生操作を設定する操作部と、上記情報記録媒体から記録情報を再生する再生部と、上記情報記録媒体に情報を記録する記録部と、各部に対して制御信号を出力する制御部とを備え、

上記操作部により再生操作が行われて上記再生部が上記情報記録媒体から上記メイン情報を読み出す際に上記付加情報の検出が行われるとともに、再生操作を終了して上記記録部により上記情報記録媒体に上記メイン情報を記録する際に記録形態を異にして記録することによって、上記再生回数情報を更新記録することを特徴とする情報記録再生装置。

【請求項3】

ユーザにより挿脱操作される可搬型の上記情報記録媒体が用いられることを特徴とする

請求項2に記載の情報記録再生装置。

【請求項4】

上記情報記録媒体が内蔵した情報記録手段であることを特徴とする請求項2に記載の情報記録再生装置。

【請求項5】

上記付加情報を定義付けする記録形態を以って記録される複数の上記メイン情報が、再生可と定義付けする第2の付加情報を付した第1のメイン情報及び再生不可と定義付けする第3の付加情報を付した第2のメイン情報とからなる上記情報記録媒体が用いられ、

上記再生部により上記第1のメイン情報が所定回数の再生を行うことにより、上記記録部により上記第2のメイン情報を上記第3の付加情報を定義付けした記録形態から上記第2の付加情報を定義付けした記録形態に書き換えて記録することを特徴とする請求項2に記載の情報記録再生装置。

【請求項6】

それぞれ再生回数情報を定義付けする記録形態を以って複数のメイン情報を記録した上記情報記録媒体が用いられ、

上記再生部により上記情報記録媒体から上記メイン情報を読み出す際に、検出した上記再生回数情報に基づいて上記各メイン情報の再生順次を決定して再生を行うことを特徴とする請求項2に記載の情報記録再生装置。

【請求項7】

外部装置と接続されることにより新規のメイン情報が供給される外部入出力部を備え、

上記再生部において上記情報記録媒体から既記録メイン情報の上記再生回数情報が所定値以上であることを検出することにより、上記記録部により上記外部入出力部を介して上記外部装置から供給された新規メイン情報を初期値の再生回数情報を定義付けする記録形態を以って上記情報記録媒体或いは他の情報記録媒体に記録することを特徴とする請求項2に記載の情報記録再生装置。

【請求項8】

上記外部入出力部が、上記外部装置とともに課金システムと接続され、

上記外部入出力部を介して上記課金システムに対して所定の対価支払い処理を行うことにより、上記記録部によって上記情報記録媒体或いは他の情報記録媒体に上記新規メイン情報を記録することを特徴とする請求項7に記載の情報記録再生装置。

【請求項9】

メイン情報記録領域に記録されるメイン情報の記録形態により情報記録再生装置を固有モードに制御する制御信号或いは所定の情報を定義付けする付加情報を保有してなり、上記付加情報として上記メイン情報を再生する毎にその記録形態を異にして記録することにより順次更新される再生回数情報を定義付けして保有する情報記録媒体と、

少なくとも、記録或いは再生操作を設定する操作部と、上記情報記録媒体から記録情報を再生する再生部と、上記情報記録媒体に情報記録を行う記録部と、各部に対して制御信号を出力する制御部とを備える情報記録再生装置と用いられ、

上記操作部により再生操作が行われて上記再生部により上記情報記録媒体から上記メイン情報を読み出す際に上記付加情報を検出する処理と、

再生操作を終了して上記記録部により上記情報記録媒体に上記メイン情報を記録する際に、記録形態を異にして記録することによって上記再生回数情報を更新記録する処理とを行うことを特徴とする情報記録再生方法。

【請求項10】

メイン情報記録領域に記録されるメイン情報の記録形態により情報記録再生装置を固有モードに制御する制御信号或いは所定の情報を定義付けする付加情報を保有してなり、上記付加情報として上記メイン情報を再生する毎にその記録形態を異にして記録することにより順次更新される再生回数情報を定義付けして保有する情報記録媒体と、

少なくとも、記録或いは再生操作を設定する操作部と、上記情報記録媒体から記録情報を再生する再生部と、上記情報記録媒体に情報記録を行う記録部と、各部に対して制御信

号を出力する制御部と、外部入出力部とを備える情報記録再生装置と、

多数の上記情報記録再生装置がそれぞれの上記外部入出力部を介して接続されにより、新規メイン情報を提供する外部情報配信機関とから構成され、

上記情報記録再生装置により上記メイン情報の再生が行われて上記情報記録媒体に再記録される際に記録形態を異にして記録されることにより上記再生回数情報の更新が行われ、

上記情報記録再生装置からの上記外部情報配信機関に対する新規メイン情報の取得要求に際して、上記情報記録媒体に記録されたメイン情報の再生回数情報が検出され、この再生回数が所定値以上である場合に上記外部情報配信機関からの新規メイン情報の提供を許可して上記情報記録媒体に対して初期値の再生回数情報を定義付けする記録形態を以って記録する処理を行うことを特徴とする情報配信システム。

#### 【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

#### 【0024】

情報記録媒体2として、例えば光磁気ディスクの基本的構成を図2に示す。光磁気ディスク2は、一般にディスクの定義情報やコントロール条件等の制御信号情報SMが、内周領域と外周領域とに構成されたコントロールトラック領域5a、5bにそれぞれ記録される。光磁気ディスク2は、内外のコントロールトラック領域5a、5b間の領域が、フォーマット領域6としてユーザによるメイン情報Mの記録領域として構成される。光磁気ディスク2には、フォーマット領域6にスパイラル状或いは同心円状に記録トラック7が形成され、図3に示すようにメイン情報Mのデータが例えばピット形式で記録される。

#### 【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

#### 【0025】

光磁気ディスク2においては、一般に図3の中央部の記録トラック7aに示すように、メイン情報Mのデータを記録するデータピットp1～p3がそれぞれトラック中心線1上に位置して記録される。また、光磁気ディスク2は、メイン情報Mに上述した付加情報AMを定義付けするために、所定範囲のデータを記録するデータピットがトラック中心線1に対してトラック制御可能な範囲で上下にズラされて記録される。すなわち、光磁気ディスク2は、メイン情報MのデータM2のデータピットp4～p6が記録トラック7bのトラック中心線1に対してx分上側にズラして記録される。また、光磁気ディスク2は、データM3のデータピットp7～p9が記録トラック7cのトラック中心線1に対してx分下側にズラして記録される。

#### 【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】符号の説明

【補正方法】変更

【補正の内容】

#### 【符号の説明】

1 情報記録再生装置、2 情報記録媒体、3 外部情報配信機関、4 外部課金処理機関、11 操作部、12 制御部、13 記録再生部、14 外部入出力部、15 記録部、16 再生部、18 外部装置、21 ネットワーク、23 情報配信システム、24, 25 金融サーバ